

せっかくつくり上げた農産物が、思うように売れなくなることです。「農産物の貿易自由化（国と国がおたがいの産物を自由に売り買いしようとする事）」とか、お米や牛肉の「市場開放」（あきない（売り買い）する場所を自由に使わせる事）という、日本の農業全体が今までに、経験したことの無い問題です。

これは、世界の多くの国々が、自分の国の農産物を、日本の市場に自由に売り出したいという、希望がたまってきたのに対して、日本は主として、工業製品（農業とちがい機械的に作りだされるもの）の輸出（外国に向けて売り出す事）で利益を上げて、国づくりを進めるという考えかたから、農産物の輸入（外国から買い入れる事）は、国内の必要な分量だけと、制限（ある量以上にならないようにすること）しているために起きてきた「貿易摩擦」（輸入と輸出の量がつり合わなくて話がまとまらないこと）の解決がむずかしいからです。

3. また農業保護政策（農業が生産を上げるために農家一戸一戸では大変という時にお金やしくみで応援する